

沈黙の杜に

(昭和六十年竊歌)

角田勤君 作歌

佐々木徹也君 作曲

一

沈黙の杜に春來告げる
芳香馨し辛夷の花よ
純白き残雪未だ消えやらす
永き寒冬偲はるる哉
郷愁胸に充滿つるとも
されど恵迪此処に在り

二

水恋鳥の哀しき聲に
我故知らず涙流しぬ
短き夏と認識りはすれども
樹々色づきてはや盛夏逝きぬ
哀愁胸に充滿つるとも
されど憧憬恵迪に在り

三

紅雲流るる黄昏どきに
夕細道は幽か続きて
何望むなく彷徨ひゆける
この現身を悲哀しみにけり
愁心胸に充滿つるとも
されど青春恵迪に在り

四

雪舞ひ踊る白銀の世よ
天指す枝柯に樹氷咲く
数多群なす星座の中に
我に向かいて天狼星光る
寂寥胸に充滿つるとも
されど經營恵迪に在り

五

弛むことなく唯時は逝き
生きとし生けるものは去りゆく
其は人の世の眞理なれども
限れる生を燃やし尽さむ
追憶胸に充滿つるとも
されど恵迪永遠に在れ